

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成30年 3月 30日

2級受検番号 NO 04S3120094 氏名 N/Y（愛知県 在住）

1 試験に向けた準備の状況

どのような内容を、どの程度行ったか

→・1級技能士会の試験対策ロープレ講座に参加（2日間）

・会社の用意してくれた、論述・ロープレ講習（3日間）と、それ以外で個別のロープレ練習を数回。

合格までに3回受験。

準備に対する振り返り

→自分の悪い癖を理解し、修正ができるようになるまでに時間がかかりました。特に学習を開始したころは、何がいけないのか、どうあるべきか、すらわからない状態だったので、講習をしっかりと受けたことで、腹落ちすることができました。

これから受検する人へのアドバイス

→自分の癖を理解することと修正ができるようになることは別物である点、ロープレは間があくと衰えるので、継続した練習が必要だと思います。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日：1月 19日（日）

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

→ロープレ練習の時間を確保するために、大阪受験で週末の設定がある最後の日を選びました。

試験官の性別：男性2人、女性0人 事例番号： 3 （清水さん）

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	守秘義務についての説明、踏み込んだ質問をするかもしれないことを伝えた
② 基本的態度	柔らかな表情や声を心掛け、話しやすい雰囲気を作ること意識し、上記同様かつ事実確認ばかりにならないように気持ちを聞くように心がけた。嫌だ辛いという気持ちには応答ができたが、CLの承認のための誉める言葉がなかなか伝えられなかったのが課題

③ 関係構築	傾聴やCLのペースに合わせたスピードで話すことを心掛け、CLの抱える課題にたいし、アドバイスを実施した
④ 問題把握	業務内容や、現在の状況が辛い点のみに焦点が当たっており、それ以外の視点が欠けていると感じたので、ご本人家族を含めた生活設計などを聞きたいので、家族構成やライフステージなどを教えてくださいとして話を広げるようにした。
⑤ 具体的展開	話をする中で、苦手業務が一番の問題とCLが捉えていたため、支援体制を確認しているうちに方策に入ってしまったが、悪い癖が出たと気づき、「すみません、私のご提案を先にしてしまったのですが、いくつか課題がある中で、何か一番負担、不安ですか」と確認し、合意を得た上で方策に入り直した。
⑥ 口頭試問の内容と回答	<p>1. キャリアコンサルタントの役割として、今の面談を振り返ってよかった点、改善したい点 →カウンセリング技法を使用し、傾聴や受容に努めたこと。方策展開で、本人合意を得る前に提案をしてしまったこと</p> <p>2. リレーションシップはできましたか、その根拠は →周りのリソースを利用する提案をしたことでCLに気づきがあった点</p> <p>3. CLの抱える問題点、CC視点の問題点は何 →CL：苦手な業務が増えたことから上司との関係性がうまくいかなくなっている。CC：苦手意識が強く、所属部署等のリソースを生かしていない、相談ができていないこと、働くことへの意識や変化するライフステージに応じたキャリアプランに描けていないこと</p> <p>4. それに対して実行したことは →複数の課題に対して、優先順位をつけ、解決の方法を検討する提案の実施。</p> <p>5. その他に実行したかったことは。 →苦手業務の克服方法の検討、ライフステージが変わるとキャリアプランも変わるので、将来的な働き方の希望やライフプランを鑑みた中長期視点での支援</p>
<p>これから受検する人へのアドバイス</p> <p>2級試験科目及びその範囲並びにその細目には、合格するために必要なことが、全て記載されています。記載内容を実行すれば、試験は合格できるので、試験直前にも誤解や思い込みがないかを確認をお勧めします。</p>	